

発行にあたって

令和5年9月8日、台風第13号の影響により北茨城市の沿岸部では線状降水帯が発生し、夕方から夜にかけて猛烈な雨や非常に激しい雨が降りました。この豪雨による時間最大雨量は、花園観測所で84.0ミリ（午後7時14分まで）、北茨城観測所で77.5ミリ（午後8時7分まで）と、どちらも観測史上最大となりました。これにより市内各所で河川の氾濫や土砂災害などが発生し、1名の尊い命が失われ、700棟を超える家屋等が浸水するなど甚大な被害に見舞われました。

近年、線状降水帯による甚大な災害が全国的に発生しています。

このような自然の脅威から自身や家族の命を守るためには、一人一人が防災への意識を高め、非常時に的確で迅速な行動がとれるよう備えておくことが最も重要です。

そこで、この豪雨災害の記憶を風化させることのないよう、冠水・浸水箇所に関する情報や避難行動フローなど防災対策の一助となるよう「北茨城市冠水・浸水防災マップ」を作成しました。本誌を活用いただき、災害への理解と自身の防災対策について、もう一度見直してみてください。

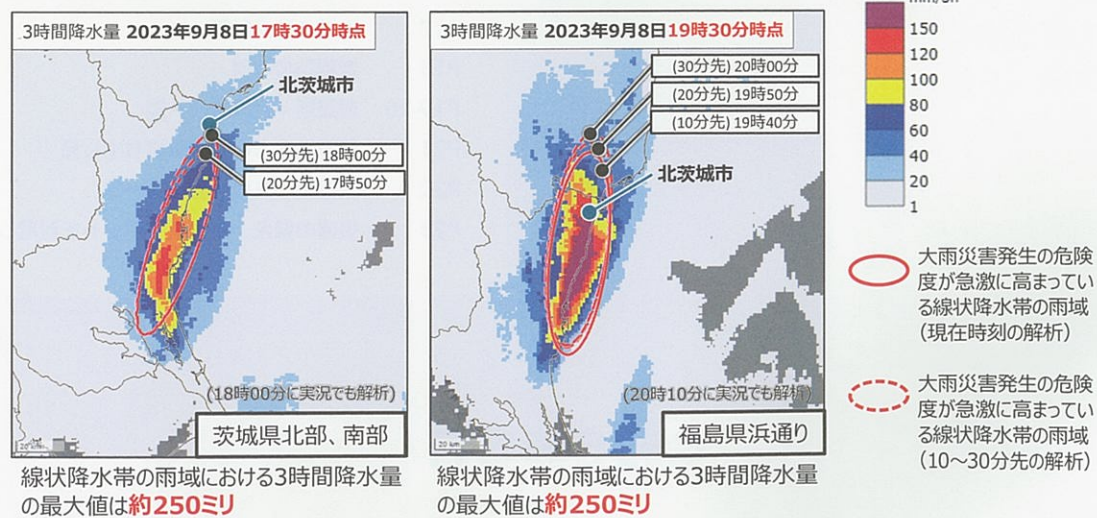
●線状降水帯とは

次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をなした、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ50～300km程度、幅20～50km程度の強い降水をともなう雨域を線状降水帯といいます。

●顕著な大雨に関する気象情報とは

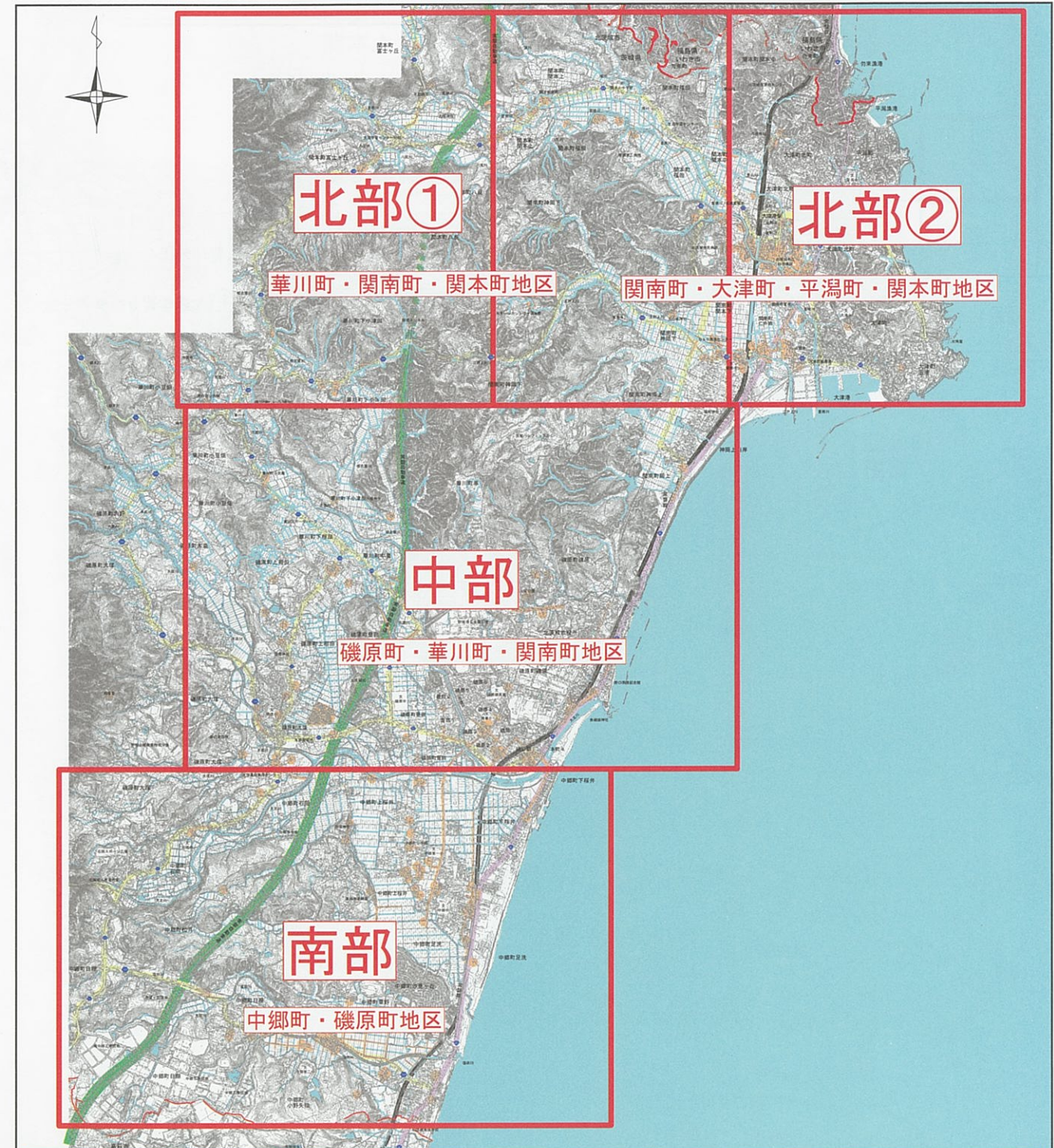
顕著な大雨に関する気象情報は、大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で実際に降り続けている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解析する情報です。この情報は警戒レベル相当情報を補足する情報です。警戒レベル4相当以上の状況で発表します。

線状降水帯の解析状況（令和5年9月8日）



※顕著な大雨に関する気象情報の発表に用いた線状降水帯の雨域（ラベル付き）及びその解析された時刻を示している。
 ※気象庁ホームページからの抜粋（https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/kishojoho_senjokousuitai.html#b）

令和5年台風第13号による冠水・浸水被害実績索引図



【注意事項】

- ※この冠水・浸水被害実績図は、台風第13号の影響による大雨で冠水・浸水被害の通報があった家屋の床上・床下浸水及び道路冠水情報をもとに作成したものです。
- ※この実績図に表示がある冠水・浸水実績箇所以外にも、被害が発生していたおそれがありますので、平時から避難通路の確認を行うなど、状況に応じて避難をお願いします。